

小型・軽量パドル

Pocke Paddle S



Ver1.0 2022/04/13 by *PockeTech*

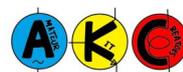
【主な特徴・仕様】

- ・ 軸受け部にベアリングをダブル（合計4個）で使用し滑らかな回転を実現
- ・ パドル部は3mm厚の亚克力板による本格仕様
- ・ 本体主要部分は3Dプリンタにより、軽量、安価を実現
- ・ 左右独立した隙間調整機能付き
- ・ 反発には磁石を使用、反発力調整可能
- ・ 調整機能付きたわみ防止ストッパーで強い打鍵にも対応
- ・ ベースには、強力マグネットを使用し、リグなどに簡単に固定可能
- ・ パドルの左右入替切替スイッチ付き
- ・ 本体部大きさは、フリスクフットプリントサイズ。
(W37.5xD71x31.5 重量 78g)

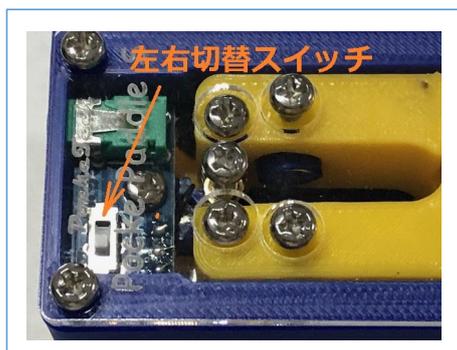
※送付時、本体部とマグネットベースは分離されています。

(クリックポストで安価に送るため)

製作難易度ランク：★☆☆☆☆



【端子出力 左右入替】



スイッチの操作は、アクリルのトップカバーを取り外して行います。

【接点間隔調整】



接点間隔の調整を行うときは、まず左写真が示すネジを回して固定ネジを緩めます。



次に、両サイドにある穴奥のセットスクリュー（イモネジ）を回して接点間隔の調整を行います。

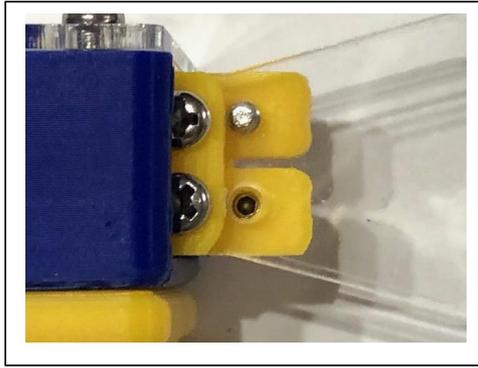
調整後は、上記、固定ネジを締めて固定します。

【パドルたわみ防止調整】

スクイーズ操作などで、両パドルを強く握った場合パドル部がしなります。このしなり具合は（ベンチャーは結構しなります）、好みの分かれるところですが、この調整を行うことによりしなり感のある程度調整することが可能です。

この調整は、間隔を先に調整してから行います。

調整は、パドル部に開いた小さな穴から六角レンチでイモネジを回して行います。



左写真の場合、下側の穴の奥のイモネジを調整します。

反対側パドルの場合、イモネジ位置は上側になります。

軽く両方のパドルを同時に押して、イモネジが、反対側のパドルの内側に当たるか、少し前に調整します。

両方のイモネジを調整し、強く握った時、パドル間隔が平行になるように、両方のネジ調整のバランスをとります。（写真右下）

イモネジを出し過ぎると、接点が接触しなくなりますので、出し過ぎないように注意してください。

【反発強度調整（磁石間隔調整）】



反発強度の調整を行うときは、まず左写真が示すネジを回して固定ネジを緩めます。



調整は両サイドにあります。

好みの位置に合わせ、調整後は上記固定ネジを締めて固定します。

緩めすぎ方向に回した場合、調整ネジが外れるので注意してください。

【注意事項】

本体主要部品は3Dプリンタによる樹脂製のため剛性は高くありません。アクリルトップカバー、ベース磁石部の取付ネジ締め具合が、パドルの操作フィーリングに影響します。ご注意ください。

【ポリシー】

1. このキット（キットを組み立てたものを含む）は、ものを作り上げることを安価で、気楽に楽しんでもらう事を目的として作られたものです。
2. このキットは、素人が設計したものであり、メーカー製のような、性能、機能、品質を保証するものではありません。
3. このキットを製作、また使用して発生したあらゆる影響を排除する保証はできません。
4. このキットを使用において、指定された電源以外の使用、改造使用、また、通常想定される一般的な使用以外での使用方法による故障、また接続された機器の故障等について一切の保証はできません。
5. このキットで設計された回路図、プログラム、その他資料などの許可のない複製、再頒布は禁止しています。また、商業的販売も禁止し、目的としておりません。

【頒布品 Q&A】

頒布品のに関する質問や、追加情報などは、下記メールアドレスで受付けます。

また、受付けた質問や情報は、下記サイトで公開させていただくことがあります。

[Mail;pocketech@pocke.tech](mailto:pocketech@pocke.tech)

URL : <http://pocke.tech/頒布品/>

取扱説明書は上記サイト各頒布品のページからカラー版がダウンロード可能です。

※ 自作を楽しみ、自作機での運用を存分に満喫してください。

